

松本地区社保協ニュース <17-2>

2017年7月25日(火) 松本地区社会保障推進協議会

<事務局>松本市市上10-5 田中ビルA棟3階 中信民医連事務センター一気付

TEL 0263-37-5427・FAX 0263-35-5517 E-mail:matsu-syaho@chushin-miniren.gr.jp

7/21 国保税引き下げ等を求める市議会への 請願運動スタート集会(緊急国保学習会)開催



松本地区社保協は、7月21日(金)県下19市でもトップクラスにある松本市の国保税の引き下げを求め、市議会への請願運動を展開しようと、緊急の国保学習会を開催しました。

緊急学習会は、松本民商会館で開かれ、社保協加盟の各団体等から20名の方が参加し、松本市の国保が抱えている深刻な現状とその打開策について学び、請願運動を成功させよう決意を固めました。

2つの危機的課題を抱える松本市国保の現状

緊急学習会への基調報告・提案をした湯浅事務局長は、松本市の国保が抱えている現状について、「2つの危機的課題」を抱えており、その問題点・課題を多くの市民が共有し、それへの打開策についての市民的合意づくりが重要と強調しました。

第1の危機的課題～松本市の国保税は「払える水準」を超えている

<県下19市中1～2位の国保税、年収比12%、所得比18%前後>

年収額	所得額	国保税	対年収比	対所得比	19市順位
312万円	200万円	374,330円	12.0%	18.7%	2位
380万円	250万円	448,830円	11.8%	18.0%	1位
443万円	300万円	523,330円	11.8%	17.4%	1位

大人(介護)2人
子ども1人の3人世帯
(給与収入世帯)
19市順位は、2017年
度税率で試算した比較

学習会の中での意見交換でも、「低所得階層ほど滞納者が多い」「介護保険料も高く、生活を脅かしている」と不服審査請求を行った」「市の担当者も高いと言っていた」「国保税の滞納があり、手遅れ死亡例が2例報告された」「無料低額診療の適応者も少なくない」など深刻事例等も報告された。

第2の危機的課題～保険税の引き上げと一般会計からの**臨時的な法定外繰入**の繰り返し。しかし、収支は安定せず、基金保有もゼロ。

松本市の国保財政の10年間の動向を分析すると、国保財政の収支悪化に伴い、国保税の引き上げと一般会計からの法定外繰入れの臨時的対応(2009年5.79%UP, 2.5億円の繰入、2010年8.04%UP, 2010年と2011年の2年間各5.2億円繰入)をしてきました。しかし、繰入を中止して以降、2014年、2015年と再び収支が悪化し、昨年13.95%保険税を引き上げざるを得なくなりました。この時も2年間各6.84億円の法定外繰入を行いました。その結果、昨年度決算では、約6億6千万円の黒字にはなりましたが、基金を積み立てもできず、依然とした不安定な財政運営が続いています。次年度から開始される都道府県単位化の中で、今後どうなるのか不安視されています。

危機打開の道～10億円規模の**恒常的な**一般会計からの法定外繰入で、**保険税の引き下げと国保財政の安定化を!**

長野市は、毎年恒常的な一般会計からの法定外繰入をこの間10～15億円(2012～2016年)繰入、保険料(長野市は保険料)引き上げを据え置いてきました。本年度は約10%の料率改定を行いました。10億円規模の法定外繰入を実行しています。これは、加入者一人当たり、1万数千円の繰入になります。

松本市に「10億円規模の恒常的な法定外繰入で2つの危機的課題を打開せよ!」と要請しましょう。